

学発番号:学18-015

事業名: 臨床化学免疫血清研修会

日時: 平成30年6月19日(火)18:30~20:00

場所: 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主題1: 糖尿病関連検査とトピックス

講師1: 中村 勇 氏

(アークレイマーケティング株式会社 マーケティング統括本部 学術推進部チーム)

参加数: 総数 19名(京臨技会員: 17名)

報告者: 岡崎一幸(京都大学医学部附属病院検査部)

以下、講演内容など

今回の研修会では、糖尿病をテーマに、全般的なお話と、糖尿病の検査に関連する講義をしていただきました。今や糖尿病は世界規模の疾患であり、日本も例外ではなく患者数は増加の一途であり、その検査の重要性を改めて解説していただきました。第一部では、糖尿尿の定義から、三大合併症および進行過程、診断基準や合併症予防のための目標値などの解説がありましたが、高齢者における血糖コントロールの目標値は若干高めに設定されているとのことでした。第二部は、糖尿病関連検査の口演でした。SGLT2阻害薬が尿定性検査へ与える影響として、WBCが偽陰性化する可能性があるとの事で通常検査時の注意点について解説していただきました。また、個人で測定可能なSMBGやCGM、FGMについて紹介がありました。CGMは暁現象の把握など従来より広い範囲で血糖変動を把握することができ、より質の高い糖尿病治療のためのツールとして期待がされています。一方、SMBGとCGMのハイブリッドであるFGMは測定対象が間質液であり表示される値は血糖の推定値であることに注意が必要とのことでした。HbA1cについては変異ヘモグロビンについて、そのタイプや測定への影響、HPLC法でのピークのパターンを提示しわかりやすく説明していただきました。今後ますます需要の増えるであろう糖尿病の検査について改めて学ぶことが出来た研修会でした。